

健康サポート薬局

弘前に県内第1号

ファルマが届け出

今年10月にスタートした厚生労働省の「健康サポート薬局」が県内にもお目見えした。関係機関と連携し薬や健康の相談を受け付けるなど一定基準を満たした薬局が表示できる制度。県内第1号となった弘前市の薬局関係者が20日、同市で記者会見し「医師の処方せんがない人の健康相談も、気軽に受け付けたい」など



健康サポート薬局について説明する石川社長ら(右端)

と抱負を語った。

県内第1号となったの

「インター」。11月18日付で届け出が受理され、今月15日

に保健所による現地確認を終えた。県などによると、20日現在、同社以外に届け出はないという。

健康サポート薬局は、服用歴など患者の薬に関する情報を一元的に把握する「かかりつけ薬剤師・薬局」の機能を持ち、住民の健康維持なども積極的に支援する。

医療機関や介護事業所、訪問看護ステーションといった関係機関との連携に加え、所定の研修を修了し5年以上の実務経験を持つ薬

剤師の常駐などの基準を満たすと表示できる。

同社によると、健康サポート薬局は現時点で全国でも30件程度。ファルマが五所川原市内で運営する薬局も、12月26日付で届け出が受理される見込みという。市役所で会見したファルマの石川隆之社長(薬剤師)らは「薬を出すだけでなく、無料で健康教室を開いたり、血糖値や骨粗しょう症の検査などの健康チェックも行いたい」と話した。

(鎌田秀人)